



無病息災を 願って 吉書焼

無病息災を願う吉書焼キッショヤキが
1月8日早朝、上県町佐護
で催され、佐護小中学校の
児童・生徒をはじめ地区住
民ら約150名が参加。正月の伝統行事を楽しみました。
主催したのは、佐護校区育成会(平山美登よしのり会長)で、
今は見られなくなった昔ながらの正月行事を子ども達に体験してもらおうと、昨年に続き開催したものです。



子ども達は保護者らと協力し、近くの山からスギやヒノキの丸太や枝、竹を集め、畑の中央に高さ約2mに積み上げました。午前6時に火を着けると炎は次第に勢いを増し、中から「パーン」と竹のはじける音があたりにこだましました。その後、子ども達が字の上達を願い、書初めかきぞめを炎の中へ投げ入れました。最後は、育成会によりふるまわれたぜんざいや餅を食べ、体を温めていました。

高齢者に楽しいクリスマスを

シルバーボランティア「しあわせ会」

12月21日、上県町地域福祉センターでシルバーボランティア「しあわせ会」主催のクリスマスフェスティバルが開催されました。

佐須奈シルバーボランティア(川崎隆会長)は、元気な高齢者がひとり暮らしの高齢者などの自宅を訪問し、日常生活の簡単なお世話や話し相手となり、安否の確認行なうなどの奉仕活動を行なっています。

今回で10周年となるこのイベントは、上県町内から約120人の参加がありました。最高齢者の日高サカエさん(91歳)によるオープニングのくす玉割りに続き、サンタクロース



から参加者全員にプレゼントが配られ、みんなで昼食を食べたあとアトラクションの大正琴や舞踊等を楽しみました。



♪ラテンの音楽♪楽しむ

12月18日、対馬市公会堂で対馬ラテンフェスティバル'05チャリティーコンサートが行われ、親子など約100名がラテンアメリカの音楽フォルクローレとピアノの弾き語りを楽しみました。

この演奏会は今回で9回目の開催で、出演したのは対馬のラテン音楽演奏グループ「ロス・タイシューコス」とイメージソングの作曲活動や各地のコンサートで活躍している「つちわき さおり」さんの2組。会場のクリスマスの雰囲気たっぷりのコンサートに子どもたちも大喜びでした。

